

届け! わたしたちの声 / ミライを語ろう。江東区こども議会



次期「教育推進プラン・江東」策定中

～ たくさんのこどもの声が届きました ～

教育委員会では、区の教育施策の方向性を定める
「教育推進プラン・江東」の次期プランを策定しています。
策定にあたっては、様々な方法でこどもからの声を聴き取り、
プランの中に取り入れていきます。



CONTENTS

- | | | | |
|---------------------------|---|--------------------------|-----|
| ・江東区こども議会 | 2 | ・「江東区学校施設の将来ビジョン」を策定／ | |
| ・こどもワークショップ「こども教育委員会」／ | | 江東区俳句教育の取組 | 5 |
| 江東教育七タまつり | 3 | ・『地域学校協働本部』を紹介します! | 6～7 |
| ・“ワクワク体験・満載! 江東区で育む未来のチカラ | 4 | ・教育委員会だより／いきいきスクールネットワーク | 8 |

こどもからの声を聴き取るために

江東区 こども議会



7月16日(水)に、江東区議会本会議場で区立中学校・義務教育学校全24校の代表の生徒たちが「こども議員」となり、教育施策について議題とする「江東区こども議会」を大久保区長にも参加していただき、開催しました。

こども議員は、自分たちが考える学校での改善すべき課題について提案をし、本多教育長や区の課長と意見交換を行いました。



第1 グループの提案

これからの時代に 必要な学習

- ・ 生成AIの使い方に関する授業
- ・ 情報の真偽を判断する力を身につける教育



第2 グループの提案

色々な個性をもつ人との ふれあい

- ・ 文化や障害について学ぶ機会を設ける
- ・ 海外の遊びなどの疑似体験
- ・ 他国の文化に触れる体験機会を平等に

第3 グループの提案

学校以外でも 学習するために

- ・ すべてのこどもが自分らしく学び、成長できる社会
- ・ 多様な学びの形を認め、支援する環境づくり



第4 グループの提案

相談しやすい環境

- ・ 相談する手段を増やし区で共有できるようにしたい!(スクールカウンセラーの利用説明、交換日記や目安箱の設置など)

第5 グループの提案

これからの学校に 必要なもの

- ・ 教室環境の改善(冷暖房や通信環境)
- ・ 学校設備の改善(バリアフリーや温暖化対策)
- ・ 環境設備を改善(自習室や夜間照明)



第6 グループの提案

地域の方々と協力して、 何ができると思いますか

- ・ 地域との交流の場をつくってほしい
- ・ 各学校の考えに合わせた取組を考えてほしい

こども議会に参加した感想を議長、副議長に聞いてみました。



議長
藤原さん

初めてだったので緊張しました。でもこういう経験がなかったのもあり、嬉しいとか楽しいという気持ちもありました。

議長をやってみて感じたのは、司会を回すのにもそれなりの苦労が必要だということです。



副議長
小川さん

このような場に参加するのは初めてで、とても貴重な体験をさせていただき、本当に良かったです。また、副議長という立場からみんなのスピーチを見ていて、とても具体的で共感できる内容だと深く感じました。

今回出た提案や問題点を自分の学校でも取り入れたいです。

当日の様子は動画でも紹介しています。視聴はこちら ▶



本編



番組紹介(ショートVer)

行った3つの取組を紹介します！

こどもワークショップ「こども教育委員会」

6月28日(土)に江東区文化センター、7月5日(土)に豊洲文化センターで、こどもワークショップ「こども教育委員会」を開催しました。江東区に住んでいる小・中学校世代のこどもたちが集まり、「よりよい学校生活を送るために、自分の考えを伝えよう」というテーマで、「学習」「生活」「環境」「先生」の4つについて様々な視点から意見を出し合ってもらいました。



「いいな!」と思うことを付せんに書き出して、みんなと意見交換をしています。



グループの意見をまとめて、みんなの前で発表しました。



江東教育七夕まつり

区立小・中学校の特別支援学級やブリッジスクールに通うこどもから、七夕に合わせて、短冊に将来の夢、これからやってみたいことなどを書いてもらいました。学校・教室ごとに自由に飾り付けをしてもらい、みんなの夢が詰まった素敵な七夕飾りが出来上がりました。

みんながつくってくれた短冊には、これから行ってみたいところや将来なりたい職業など様々な夢や願いごとがありました。ブリッジスクールでは、早速実現した取組もあったようです。



教育委員会は、こどもたちの意見をしっかりと受け止めて、次の「教育推進プラン・江東」をつくってまいります。

3つの取組の詳細とみんなからの意見はこちらにまとめています。▶



ワクワク体験、満載！

江東区で育む未来のチカラ

江東区は、水と緑豊かな自然、そして多様な文化が息づく魅力あふれるまち。この素晴らしい地域で、こどもたちが心豊かに成長できるよう「江東区ならではの特別な体験活動」に力を入れています！

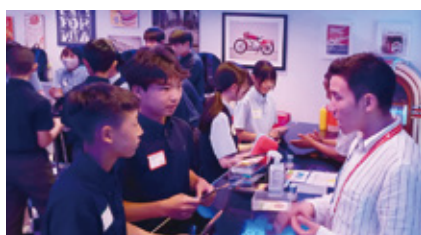
江東区には、こどもたちが「みんな、かがやく！」未来への扉を開くための、魅力的な施設がたくさんあります。地域に愛着をもち、グローバルな視点を育む、とっておきの体験活動をご紹介します。



世界とつながる英語体験！ TOKYO GLOBAL GATEWAY(青海)

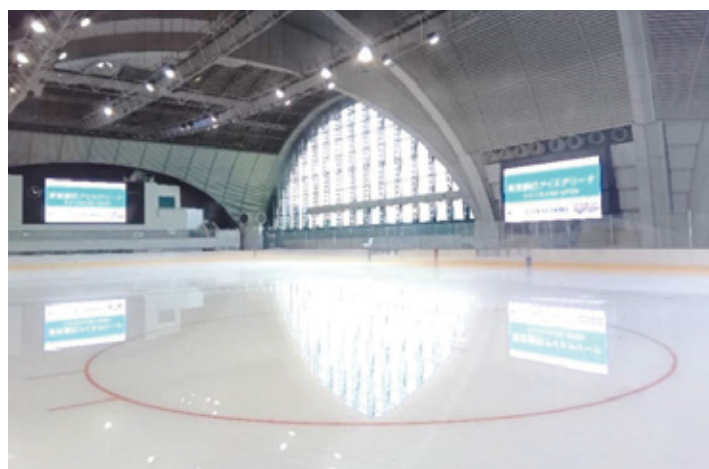
パスポートなしで、あっという間に海外へひとつ飛び！「TOKYO GLOBAL GATEWAY」は、まるで外国の街を訪れたかのような、ワクワクする体験型英語学習施設です。

ここでは、レストランでの注文やホテルでのチェックインなど、リアルな場面をシミュレーションしながら、「使える英語」を楽しく学びます。江東区では、区立学校に通うすべての小学5年生と中学2年生(義務教育学校5年生と8年生)がこの施設を訪れ、授業で学んだ英語を実践的に使うことで、「英語ってこんなに楽しいんだ！」という感動を味わっています。こどもたちの「もっと話したい！」という意欲を引き出し、グローバルな未来への一歩を力強く応援します。



銀盤の輝き！ 東京辰巳アイスアリーナで舞う夢

令和7年9月、都内初の通年型アイスリンク施設「東京辰巳アイスアリーナ」が、いよいよ江東区に誕生します。国際規格のメ



インリンクに加え、サブリンクを備えたこの最新施設は、こどもたちの新たな挑戦ができる舞台の1つとして加わります。

今年度は、近隣の小学4年生が、このメインリンクでスケート体験活動をする予定です。真っ白な氷の上を滑る爽快感や、友達と滑る楽しさは、きっと忘れられない思い出になるでしょう。未来のアスリートがここから羽ばたくかもしれない、そんな夢と可能性に満ちた場所が、江東区に生まれます。

感動の舞台！ 有明四季劇場で心揺さぶる体験を

都内最大級の複合施設「有明ガーデン」にある有明四季劇場では、日本演劇史上初の無期限ロングランを続けるミュージカル「ライオンキング」が、連日、多くの観客を魅了しています。

区立学校のすべての中学1年生(義務教育学校7年生)は、この感動の舞台を鑑賞します。ただ観るだけではありません。事前学習では、物語の背景やテーマを深く学び、観劇後には仲間と感想を語り合うことで、感受性や表現力を育みます。プロの舞台芸術に触れることで、こどもたちの心には、きっと忘れられない感動と新たな発見が生まれるはずです。



江東区教育委員会は、「みんな、かがやく！」を合言葉に、これらの魅力あふれる施設を最大限に活用し、こどもたちが発達段階に応じた多様な体験を通じて、心身ともに大きく成長できる機会を提供していきます。江東区のこどもたちが、地域への愛着を深めながら、自分自身の可能性を広げ、未来をたくましく生きる力を育んでいくことを目指します。

問 教育委員会指導室 ☎ (3647)9179 📞 (3647)6505

「江東区学校施設の将来ビジョン」を策定

～こどもたちや教職員、保護者や地域の方々にも愛着を持ってもらえるような学校づくりを目指す～

学校施設の改築・改修については、平成24年に「江東区立小中学校の改築・改修に関する基本的な考え方」を策定し、この「基本的な考え方」に基づいて整備を進めてきました。策定から12年が経過し、この間に生じた教育環境の変化や災害の激甚化などを経て、学校施設に求められる機能が多様化してきました。

こうした状況変化に対応し、将来にわたって長く親しまれる学校整備を行っていくため、今後の施設整備の指針として「江東区学校施設の将来ビジョン」を策定しました。

今後、学校を改築・改修する際には、校舎と体育館を集約化して限られた敷地の効率化を図るほか、エレベーターの設置によるバリアフリーに配慮した計画、水害時の避難に使用する施設や設備については、浸水の高さを考慮した計画とします。また、学校の主役であるこどもたちみんながかがやく場づくりとして、教室をはじめ、教育環境の充実を図ります。

改修については、既存躯体をそのまま使用するなどの制約がありますが、可能な限り方針の実現を目指していきます。



整備事例



内装の木質化



体育館の非浸水階設置

問 学校施設課施設計画係 ☎ (3647)8543 📠 (3647)8547

江東区俳句教育の取組

松尾芭蕉、石田波郷等、俳人ゆかりの地である本区では、俳句に親しむ児童・生徒の育成を目指して俳句教育に取り組んでいます。「こうとう学びスタンダード」の「国語スタンダード」にも「季節を感じ、俳句に親しみます」と俳句を位置付け、すべての学校で、児童・生徒が俳句を作り、親しめる機会を設けています。

●俳句授業への講師派遣

各学校が俳句授業を行うための支援として、俳句講師を各学校に派遣しています。長年、本区の俳句教育に関わっていただいている俳句講師が、一緒に授業に入り、担任の先生のサポートを行っています。教室や廊下に俳句を掲示している学校も多く、日常的に俳句作りに取り組んでいます。

●江東区立小・中学校俳句集「きらり」の作成

俳句授業等で児童・生徒が作った俳句の中から、各学校で代表の句を選出し、俳句集にまとめています。優れた俳句を表彰し、互いの作品を鑑賞し合うことで、俳句教育のさらなる充実を図っています。この俳句集は、毎年発行し、各学校での俳句教育に活用できるよう、学級文庫や図書室等に置いてもらっています。

す。区立図書館にも置いてありますので、ぜひご覧ください。

●「きらり☆こうとう俳句祭」の開催

毎年2月～3月頃、「きらり☆こうとう俳句祭」を開催し、俳句集に掲載された児童・生徒を表彰しています。「区長賞」「区議会議長賞」「教育長賞」「特選」を受賞した児童・生徒には、区長、区議会議長、教育長から表彰状が授与されます。その後、選者の方々から、それぞれの句の良い点を専門的な見地から講評をいただきます。

●俳句教育通信の発行

定期的に俳句教育通信を発行しています。俳句講師が区内小中学校を訪問し、授業した際の指導の状況やこどもたちが鑑賞し合った様子などを区のホームページに公開しています。

●江東区立中学校俳句部の活動

特色ある部活動の一つとして平成23年度に創部しました。部員たちは、熱心に活動し、俳句のコンテストでの入賞等のほか「きらり☆こうとう俳句祭」では運営に協力して活躍しています。今後も活躍の機会をさらに広げ、活動を充実させていきます。



問 教育支援課教育支援係 ☎ (3647)9307 📠 (6458)6087

地域も 保護者も 学校も! みんながつながる!!

『地域学校協働本部』を紹介します!

みんなの
学校に
ある

地域学校協働本部!

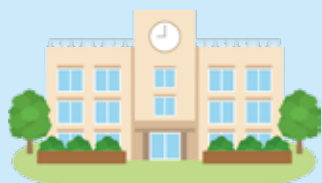
PTAや青少年委員、子ども会、町会・自治会、企業などの学校を支える様々な関係団体や関係者をつなぎ、緩やかなネットワークをつくることで、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動を推進する体制のことを地域学校協働本部と呼んでいます!

地域学校協働本部は区立学校全校に設置されており、地域と学校の橋渡し役となるコーディネーターを中心として、花壇整備、登下校の見守りボランティア、まち探検のサポートのための町会との調整や体験教室の実施など、こどもたちと先生方、地域にかかわる様々な取組を行っています。

「コーディネーター」って
どんな人?

地域と学校のつなぎ役

学校のニーズを的確にくみ取ったうえで、ボランティアを募ったり、得意分野をお持ちの方に地域指導員の依頼をするほか、学校を支援する全体の動きを調整する役割を担うのが、コーディネーターです。区立学校に1名以上配置されており、PTAのOB・OGや青少年委員、地域住民の方等がコーディネーターとして活躍しています。



学校

多様な教育活動を実現

- コーディネーターとの調整
- 活動場所の提供

ニーズ把握・
調整



活動支援



連携・協働

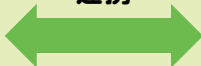


コーディネーター

発掘・調整

ボランティア 多様な人材・団体

連携



関係団体

- ・ PTA
- ・ 青少年委員
- ・ 町会・自治会
- ・ おやじの会
- ・ 社会福祉協議会等

地域学校協働本部

※学校ごとに様々な名称をつけて活動しています。



▲区長からは、「保護者の方と一緒に取り組む秘訣は?」などの質問がありました。

地域学校協働本部コーディネーター 懇談会 7/18(金)

大久保区長・本多教育長・コーディネーターで、各学校での協働活動の取組や苦労・成果などの意見交換を行いました。区長からは、『地域・保護者・学校をつなげる大事な役割を担ってもらっている。活動をさらに広めてほしい』という応援の言葉と、教育長からは、『地域の皆さんの協力は学校運営において不可欠なものであり、ありがたい』と、日々の活動への感謝の言葉をいただきました。

現場で活躍する ボランティアさんに 密着しました！

第二大島小学校の
活動紹介

「二大小応援団」の特徴

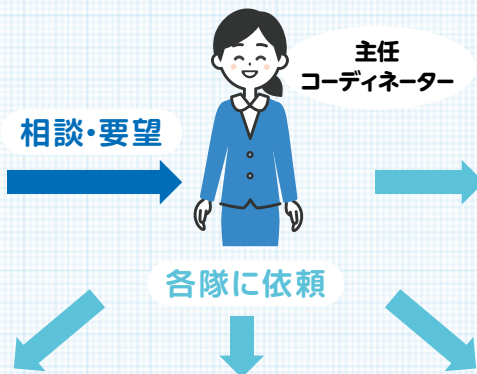
「二大小応援団」(第二大島小学校の地域学校協働本部の愛称)は、10隊に分かれて、活動を行っています。各隊には1名ずつ隊長が配置され、ボランティアさんの調整や指示出しなどを行っています。二大小応援団に寄せられた学校の要望や相談を、主任コーディネーターが司令塔となり、各隊に振り分けています。

『できる人が できる時に できることを』というスローガンのもと、現役・卒業生の保護者、町会関係者などたくさんの方々にご協力いただきながら活動しています。



第二大島小学校

令和6年度からピカピカの校舎



親衛隊

独自イベント企画や学校行事のお手伝い



花植え隊

季節ごとに、昇降口を彩り



丸つけ隊

朝の算数ステップ学習の丸つけ



BOOK隊

図書室の壁面装飾や本の修理



まなび隊

授業補助(家庭科など)



見守り隊

毎朝各所で児童の登校の安全を見守り

このほか、活動隊員募集の案内作り等を行う〈宣伝隊〉や、なかよし学級の英語支援を行う〈English隊〉、校外学習の付き添いを行う〈付き添い隊〉、大会参加に向けた練習場所確保や練習補助等を行う〈ドッジボール隊〉があります。

ボランティアさんと校長先生へのインタビュー

ボランティアさんに、活動のやりがいについて聞いてみたところ、『こどもたちの成長を身近に感じることができる』『まちで声をかけられるなど、こどもたちとのつながりを実感できた』といったお話が寄せられました。校長先生は、『ボランティアさんとの会話を通じて、学校生活では見られなかったこどもたちの様子や変化を知ることができ、大変助かっている』と話しており、地域と学校の双方に良い影響があることが分かりました。

取材で
感じたこと

地域も保護者も 参加しやすい体制づくり

地域と学校のつながりは、こどもたちに、多様な経験と地域への愛着を与えるとともに、保護者の方々にとっても、ボランティア活動を通じて、こどもの学校生活を間近に見ることができるというメリットがあります。様々な立場の方が、手を取り合って、こどもたちのために、『できる時に』『得意なこと、できること』のボランティアに参加してみても、いかがでしょうか。

教育委員会だより

教育委員会について

月1回定例会を開会しています。必要に応じて臨時会を開会することもあります。会議は、原則、どなたでも傍聴(5名まで)できます。開会の日時、場所、傍聴の手続き、また過去の会議録は区のホームページでご確認ください。

教育委員会ホームページ

<https://www.city.koto.lg.jp/kyoiku/index.html>

学校や幼稚園の様子をお伝えします!



教育委員会開会状況(令和6年)

● 定例会12回 ● 臨時会7回

《案件数》 議事案件43件、報告案件77件、協議案件11件

▶ **教育委員会構成** 教育委員会の構成は、次のとおりです。



教育長
本多 健一郎



教育長職務代理者
安部 敏啓



委員
鈴木 清人



委員
浅野 美智子



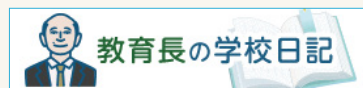
委員
大久保 善子

問 庶務課庶務係 ☎ (3647)9170 FAX (5690)6911

今後の教育委員会開会予定

定例会	開会予定日時
第10回	10月24日(金)午前10時
第11回	11月14日(金)午前10時
第12回	12月26日(金)午前10時

学校や幼稚園の様子をお伝えします!



いきいき スクールネットワーク



つばめ幼稚園

親子でまく、なぜ?!の種

本園は、今年度より3年保育が開始されました。より早い時期から様々な人とつながり、豊かな時間を共有しています。



7月上旬に「親子で種まき」を、父母の会と連携して行いました。家庭で果物を食べたときに見つけた種や花の種など、多種多様な「種」を園に持ちよってまきます。約20個のプランターを用意し、親子で場所を選び、種をまきラベルを付けます。近年は気象の変化で植物の開花時期がずれ、思いがけない時期に花が咲くこともあります。「芽が出るかな?どんな芽かな?」と、みんなのわくわくする気持ちが膨らみます。保護者の皆さんも、「芽が出て出なくても、そこには学びがある」と受け止めてくださっています。今後も「やってみよう」「試してみよう」と親子で興味・関心をもちながら取り組んでいきます。こどもたちには、「なぜ?」という好奇心や探究心、多様な自然に触れる中で感性を育んで行けるよう、活動を続けてまいります。

南砂小学校

みんなで「いじめゼロ」を目指します!

南砂小学校では、令和6・7年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校の指定を受け、「自分も みんなも 大切にできる 南砂の子」を目標に、こどもたちの主体性を育む教育を進めています。

先日、代表委員会の児童たちから「いじめをなくすために、全校で何かしてみたい」という提案がありました。この提案を受け、学校全体でいじめを許さない気持ちをさらに高めるため、「人権標語」の作成に取り組むことにしました。

こどもたち一人一人が「いじめをなくすにはどうしたらよいか」を考え、標語を作りました。さらに、代表委員会の児童たちの発案で、南砂小学校全体の思いを込めた「学校標語」も作成しました。

こどもたちが自ら考え、行動する機会を大切にすることで、南砂小学校はこれからも、すべてのこどもたちが明るい笑顔で安心して過ごせる「いじめゼロ」の学校づくりに努めてまいります。

